



矢代幸雄

美術家は時空を超えて

矢代幸雄

稲賀繁美著



ミネルヴァ書房

矢代幸雄（一八九〇～一九七五）美術史家、評論家。

欧州に留学し、ポツティチェルリ研究で注目される。帰国後は美術研究所の設立に参画し、戦後には大和文華館初代館長ともなる。独自の方法論をもって名を馳せた日本の美術史研究の先駆者であり、幅広い人脈を活かして日本美術を世界に紹介した文化外交の達人でもあった。同時代の思潮にも目配せしながら、その知られざる生涯に迫る。

美術家は時空を超えて

代表作『サンドロ・ポツティチェルリ』の序文に見られる一節。「時空の限界を超えて遠来の友を待つ」——世界における日本美術の位置を探し続けた矢代にとって、それは藝術家の姿であると同時に、遠路遙々と欧州に旅してポツティチェルリに出会った自分自身の実感でもあった（本書三〇八頁参照）。



マークは中国古代文字金文の〈人〉。  
人の側身形から生まれた。  
装幀 石川九楊

## 矢代幸雄

### 目次

プロローグ 真珠のネクタイピン

第一章 履歴と人脈——留学まで

第二章 欧州留学

第三章 美術研究所時代

第四章 戦中から戦後へ

第五章 「偉大なるアマチュア」

エピローグ 後世への遺産

参考文献

あとがき

矢代幸雄略年譜

資料

人名・事項索引

美術家は時空を超えて

瀧川書房

美術史研究の先駆者にして文化外交の達人。  
知られざる国際的知識人の実像に迫る。

ミネルヴァ書房

### 好評既刊

『岡倉天心』 木下長宏

『狩野芳崖・高橋由一』 古田 亮

『橋本関雪』 西原大輔

『高村光太郎』 湯原かの子

『薩摩治郎八』 小林 茂

『林 忠正』 木々康子

『小堀鞆音』 小堀桂一郎

『熊谷守一』 古川秀昭

『青山二郎』 田野 勲

『唐木順三』 澤村修治

『保田與重郎』 谷崎昭男